



2024年3月21日

各 位

会 社 名 リンテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 服部 真
(コード：7966、東証プライム市場)
問合せ先 広報・IR室長 竹内 栄一郎
(TEL. 03-5248-7741)

新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」策定のお知らせ

当社グループは、2027年3月期を最終年度とする3か年の新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」を策定いたしましたので、その概要について、下記にてお知らせいたします。

記

2030年3月期を最終年度とする長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030 (LSV 2030)」は、基本方針を「イノベーションによる企業体質の強靱化と持続的成長に向けた新製品・新事業の創出を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する」とし、「社会的課題の解決」、「イノベーションによる企業体質の強靱化」、「持続的成長に向けた新製品・新事業の創出」の三つの重点テーマに対する諸施策を、長期ビジョンの実現に向けたマイルストーンと位置づけ、3か年ごとの中期経営計画にて実行することとしています。

最初の中期経営計画となる「LSV 2030 - Stage 1」の初年度において、売上高・利益ともに過去最高を記録し、当初掲げた最終年度の経営目標を前倒しで達成したことから、最終年度の経営目標を上方修正いたしました。しかしながら2年目については、電子・光学関連製品や他の製品についての急激な受注減少があったほか、原燃料価格や物流費の高騰影響を大きく受けたことで、収益面では厳しい結果となりました。最終年度の2024年3月期においては、価格改定や円安効果に加え、第3四半期以降、全般的に受注は回復傾向にあるものの、上期の不振をカバーするまでには至らず、極めて厳しい結果になると予想しております。

今後も原燃料調達コストの高止まりや地政学的リスクの高まりなど、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が続くと予想されます。当社グループが持続的な成長を遂げていくためには、新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」において、長期ビジョン「LSV 2030」の実現に向け、三つの重点テーマに対する取り組みを一層強化してまいります。

また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応については、長期ビジョン重点テーマおよび新中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」の経営目標の着実な達成、成長投資ならびに株主還元を主眼においたキャッシュアロケーション方針、積極的な株主との対話やIR活動の推進などを着実に実行することで、企業価値の向上と継続的なPBR 1倍越えを目指してまいります。

《新中期経営計画の概要》

I. 名称／期間

「LSV 2030 - Stage 2」／ 2024年4月～2027年3月

II. 各事業セグメントの主な取り組み

■印刷材・産業工材関連

印刷・情報材事業部門

- 北米やアジアでの拡販と収益向上
- 地球環境との共生と循環型社会の実現に向けた取り組み など

産業工材事業部門

- ウィンドーフィルムのさらなる高機能化と拡販
- 労働力不足の解決や生産効率の向上に貢献する新製品の開発やシステムの拡販 など

■電子・光学関連

アドバンストマテリアルズ事業部門

- エレクトロニクス市場の成長に向けた継続的な設備投資と需要対応
- 先進半導体後工程におけるパッケージング技術に関わる新たなテープや装置、独自プロセスの開発
- EUV 露光機用 CNT ペリクル量産体制の確立 など

オプティカル材事業部門

- 車載用 OCA(Optical Clear Adhesive)などの新製品の開発と拡販
- 光拡散フィルムの開発 など

■洋紙・加工材関連

洋紙事業部門

- 耐油耐水紙のさらなる用途展開
- プラスチック代替高機能紙の開発・拡販 など

加工材事業部門

- 合成皮革用工程紙の海外展開強化
- 炭素繊維複合材料用工程紙の拡販 など

III. 2027年3月期（最終年度）経営目標

■売上高	3,150 億円
■営業利益	255 億円
■親会社株主に帰属する当期純利益	180 億円
■売上高営業利益率	8%以上
■ROE（自己資本当期純利益率）	8%以上

※具体的な計画内容については、2024年5月15日開催予定の2024年3月期決算説明会にて発表する予定です。

※本資料は、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などにに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上